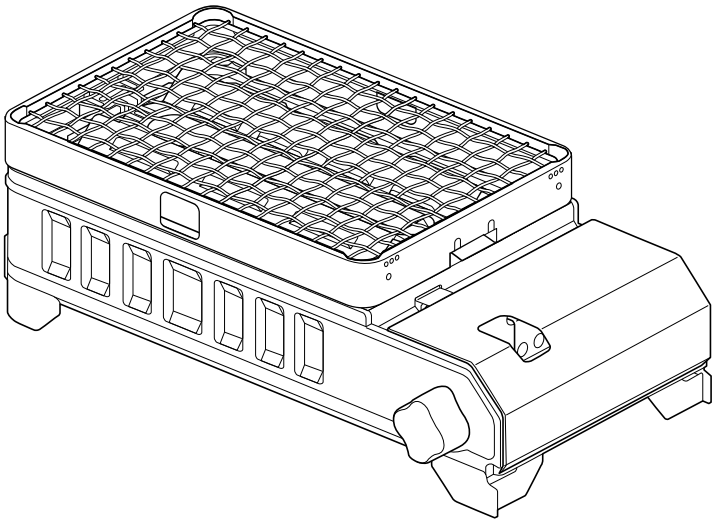
取扱説明書

Iwatani



イワタニカセットガス炉ばた焼器
炙りの匠 一般家庭用
CB-ABT-1

このたびは、本製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、
記載内容に従って正しくご使用ください。
そしてお使いになる方がいつでも本書を読めるよう
大切に保管してください。

本製品は調理を目的として家庭用に使われることを
使用条件として製造されています。
その条件を超えた過酷な使用や特殊な使用をすると、
故障、使用者のけが、あるいは火災の原因となる
可能性があります。
この取扱説明書に記載されている注意事項に従って
正しく使用してください。

目次

表紙（このページ）…… 1
特にご注意ください …… 2
各部の名称と働き …… 3～
・主な仕様 …… 3
使用上の注意 …… 4～
・容器（ボンベ）の取扱いについて …… 6
使い方 …… 7～
・点火と火力調整と消火 …… 8
使用後のお手入れと点検 …… 9
「故障かな?」と思ったら …… 10
アフターサービス …… 12

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください

〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を表しています。

〈絵表示には次のような意味があります〉

⚠ 危険・警告・注意を促す図記号　❗ 必ずおこなう内容　🚫 禁止内容　接触禁止　分解禁止

岩谷産業株式会社

⚠ 警告

安全にお使いいただくため、特にご注意ください

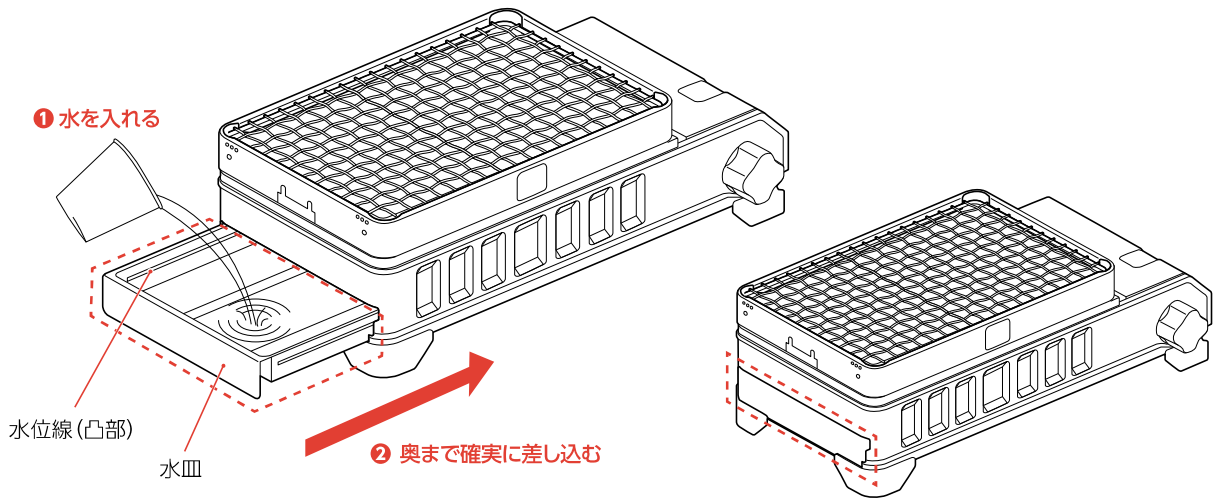
必ず、水皿に水を入れてから使用してください

水を入れる際は、

❶ **水皿を引き出し、700 ml の水を水位線（下図参照）まで入れます。**
※水皿を完全に引き出すと水がこぼれやすいため、水皿を 1/3 程度引き出して注水してください。

❷ **水皿を矢印方向に、奥まで確実に差し込みます。**

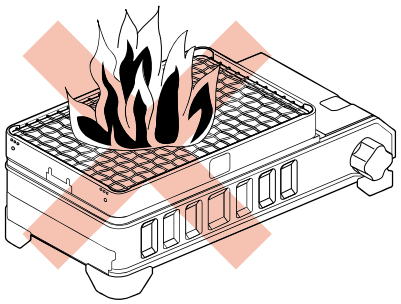
●**使用中に水が少なくなったら、必ず水を補給してください。**
水皿は高温になっています。水の補給時は必ず耐熱の手袋をご使用ください。



炎があがり続けるような使用は絶対にしない

炎があがり続ける場合は、
ただちに点火つまみを「OFF」にして
容器（ボンベ）を外し、炎から遠ざけてください。
（やけどに十分注意しながら）

炎が消えない場合は、濡れた大きな布やタオルでゆっくりと製品全体を覆い、空気を遮断して消火してください。

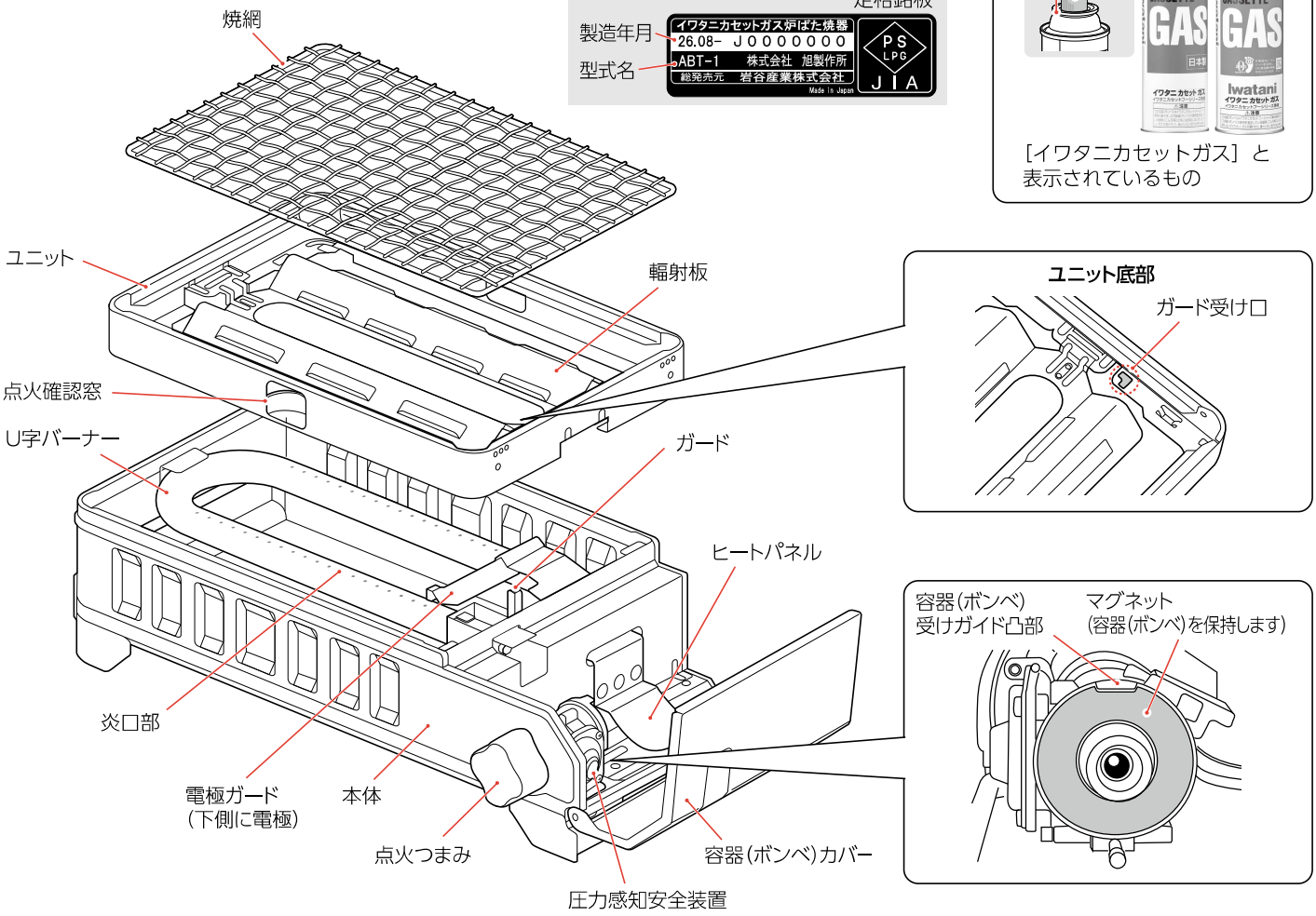


飲食店などで業務用として、肉や魚を大量に焼き続けるような使い方は、絶対にしない

（本製品は一般家庭用です）

水皿に水が入っていないと、焼き面から落ちる食材の油脂分に引火して、炎が立ち続ける場合があります。
容器（ボンベ）のすぐそばで炎が立ち続けると、過熱によって容器（ボンベ）が爆発するおそれがありますので、このような使い方は絶対にしないでください。

各部の名称と働き



製品特長

ガスの気化を促進する火力安定装置(ヒートパネル)

燃焼中の容器(ボンベ)は、ガスの気化が進むにつれて温度が下がり、火力が弱くなったり、ガスをすべて消費できなくなったりします。
それを防ぐため、燃焼中のバーナーの炎の熱を適度に容器(ボンベ)に伝え、ガスの気化を促進して、火力を維持しガスを最後まで使い切ります。
このため容器(ボンベ)が少し熱くなりますが異常ではありません。

マグネットを使った容器(ボンベ)の着脱

レバーを使わず、マグネットの磁力を利用して容器(ボンベ)を取り付ける仕組みです。
誤った容器(ボンベ)の取り付けが起こりにくい取り付け方法です。

圧力感知安全装置

容器(ボンベ)の中の圧力(= 温度)が異常に高まる(約 40 ℃以上)と、自動的に容器(ボンベ)を離脱させ炎を消します。

●**圧力感知安全装置が作動したときは**、点火つまみを「OFF」の位置に戻し、容器(ボンベ)を本体から取り外してください。
その後、「使用上の注意」(P.4 ～ 6)をよくお読みいただいて原因を取り除き、水で冷やした容器(ボンベ)または新しい容器(ボンベ)を装着し、ご使用ください。

主な仕様

JGKA (一社)日本ガス石油機器工業会登録品

機種名	イワタニカセットガス炉ばた焼器　炙りの匠
型式	CB-ABT-1
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置(容器離脱型)
	容器装着安全装置
最大外形寸法(使用状態)	409 mm(幅)×222 mm(奥行)×136 mm(高さ)
本体重量	約 2.3 kg(容器(ボンベ)は含まず)

使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	2.3 kW(2000 kcal/h 相当、169 g/h) 〈気温 20～25 ℃〉
連続燃焼時間	約 90 分 〈最大火力で新品容器(ボンベ)をすべて使用したときの実測値。気温 20～25 ℃〉
使用容器	イワタニカセットガスと表示されている専用容器(ボンベ)

使用上の注意

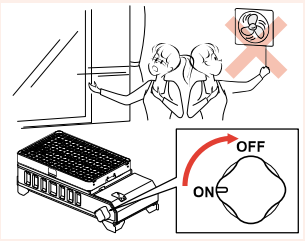
⚠危険

ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

(引火により爆発のおそれがあります)

●ガスが漏れるとガスのニオイ(くさった玉ねぎのようなニオイ)がします。
ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気を使用せずに、すぐに次の処置をおこなってください。

❶ 直ちに火を止める。(点火つまみを「OFF」の位置にする)
❷ 容器(ボンベ)を取り外す。
❸ 窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。(換気扇は使用しないでください)



■使用場所について

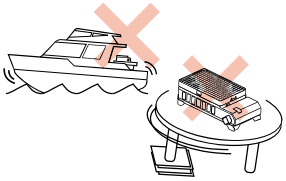
⚠警告

次のような場所では絶対に使用しない (火災や爆発、死亡事故、やけどの原因となります)

●狭い場所や換気の悪い場所

テント内や車内、乗り物の中など狭い場所や密閉された場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。

●乗り物や不安定な場所

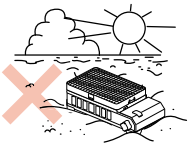


使用中に本体が傾いたり大きく動いたりすると、炎が大きくなり危険です。また、本体が転倒するおそれがあり危険です。ゆれたり、傾いたり、動いたりすることのない、安定した水平な場所でご使用ください。

●強い風があたる場所

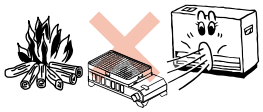
強い風があたる場所で使用すると、U字バーナーの炎が本体に巻き込まれ、事故、本体焼損の原因になります。

●容器(ボンベ)が過熱する場所



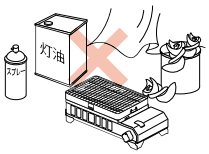
夏の砂浜やアスファルトなど日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。

●火気の近くや熱気のあたる場所



火気から 2m 以上離す。

●周囲に、容器(ボンベ)・ヘアースプレーなどの高温禁止物や布・紙類などの燃えやすいものが近くにある場所

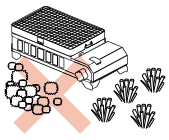


⚠注意

次のような場所では絶対に使用しない

●本体の下が砂や小石、あるいは草・植物の切り株などで、容器(ボンベ)やU字バーナーに対して輻射熱や物理的な影響を及ぼすような場所

(放熱が悪くなり、本体が焼損したり、容器(ボンベ)が過熱して、爆発するおそれがあります)



●タタミ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱いものの上

(変形・変色する場合があります)

●本体の底部から空気や煙を吸い込む場所(無煙ロースター付きのテーブル等)

(異常燃焼のおそれがあります)

●棚の下など、落下物の危険がある場所

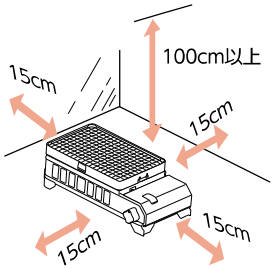
(引火や調理器具の転倒によるやけどのおそれがあります)

●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

(風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体やテーブルをこがすことがあります)

防災上必要な距離をとって設置する

使用の際には家具や壁(木造建築)などの可燃物から周囲 15cm以上離してご使用ください。
本製品上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100cm 以上離してください。



■使用前に

警告

必ず、ガス漏れがないこと、点火・消火動作に異常のないことを確認してから使用する

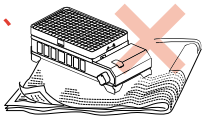
故障または破損したものと思われるものは絶対に使用しないでください。

容器（ボンベ）は確実に装着する

（ガスが漏れて火災の原因となります）

注意

本体の下に燃えやすいもの、熱に弱いもの（テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かない



無垢材、一枚板、ガラス製のテーブル、漆塗り、塗装、ウレタン系コート、合成樹脂材などの熱に弱いテーブルの上でご使用の場合は、テーブルの耐熱温度および取扱い上の注意を確認のうえ使用の可否をご判断ください。

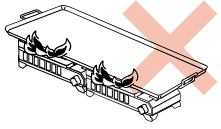
（使用中の本体の底部はたいへん熱くなっており、テーブルの割れ、変形、破損、焼損が起きるおそれがあります）

■使用中・使用後は

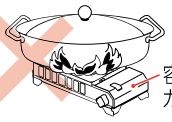
警告

次のような使い方を絶対にしない（容器（ボンベ）が過熱して爆発する原因となります）

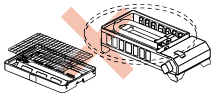
●製品を 2 台以上並べての使用



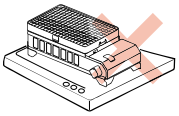
●容器（ボンベ）カバーを覆ってしまう大きな調理器具（鉄板等）の使用



●ユニットを取り付けた状態・外した状態にかかわらず、付属品あるいは指定以外の調理器具の使用

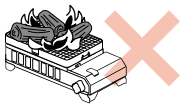


●他の熱源（電気こんろ、IHクッキングヒーター（電磁調理器）など）の上での使用や保管

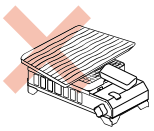


●石や砂、陶器、セラミックスなどを使い蓄熱で調理する器具の使用

●炭の火起こしなどの用途への使用



●セラミック付焼き網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器や魚焼き器、省エネごとく、省エネリング、輻射熱の強い器具の使用。
また、アルミホイルなどで、ごとくや焼き網などを覆っての使用



（輻射熱により本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する原因となります）

調理以外に使用しない

（過熱や異常燃焼などによる焼損や火災などのおそれがあります）

火を点けたままそばを離れない

火を点けたままで本製品のそばを離れないでください。外出や就寝の際は必ず消火を確認してください。電話や来客などの場合も、火を消してください。

火を点けたまま傾けたり、移動させない

（転倒するとやけどや火災の原因になります）

炎があがり続けるような使用は絶対にしない

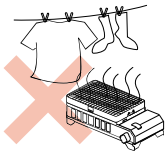
脂身を多く含んだ肉類や魚を大量に焼きつづけると、落ちた脂で炎が大きくなる場合があります。

●炎があがり続ける場合は、ただちに点火つまみを「OFF」にし、やけどに十分注意しながら容器（ボンベ）を外し、炎から遠ざけてください。

●炎が消えない場合は、濡れた大きな布やタオルでゆっくりと製品全体を覆い、空気を遮断して消火してください。

本製品を衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しない

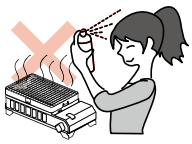
（衣類が落下するなど、火災の原因となります）



引火のおそれのあるものを近くで使用しない

（引火による爆発、火災の原因となります）

ヘアースプレー、ガソリン、灯油など、引火のおそれのあるものを近くで使用したり、点火棒やライターなどを本体の上や周りに置かないでください。



子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。

U 字バーナー付近に顔や手を近づけない

（炎によりやけどのおそれがあります）

使用中は換気をする

（閉めきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります）

ご使用と同時に換気扇を回すなど換気に十分注意してください。

一度で点火しなかった場合は引火に注意する

再点火の際は、ガスのニオイがなくなったことを確認してからおこなってください。溜まったガスがあると、爆発的に点火したり、周囲に引火する危険があります。

警告

使用後は容器（ボンベ）を取り外す

使用後は火災防止のため、容器（ボンベ）を必ず本体から取り外してください。装着したまま保管すると何らかの原因で点火つまみが回った場合、ガス漏れや引火の可能性があり非常に危険です。

絶対に改造・分解はおこなわない

（分解は一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因になります）

使用時や使用後しばらくは点火つまみ以外には手を触れない

（やけどのおそれがあります）

異常時や緊急時はあわてず次の手順に従う

異常例　異常音・異常臭がする、赤火が起こる など

❶ 点火つまみを「OFF」にして消火する
❷ 容器（ボンベ）を本体から取り外す（P.8）
❸ 「「故障かな？」と思ったら」（P.10）に従う

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき燃焼していることを確認する

未点火の状態で点火つまみが「OFF」以外の位置になっているとガスが出て危険です。ご注意ください。

指定サイズの鍋や指定調理具以外のものは使用しない

（予期しない事故の原因となります）

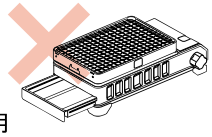
指定のものはこちら→

水皿について

■水皿に水が入っていない状態では使用しない
■水以外のものは絶対に入れない

（予期しない過熱によって、容器（ボンベ）が爆発するおそれがあります）

水皿が奥まで差し込まれていない状態で使用しない



（奥まで差し込まれていない状態で使用すると容器（ボンベ）が過熱され爆発するおそれがあります）

■長時間使用する場合は、1 時間をめやすに水皿にたまった脂や調理物を取り除き、水位線まで注水する

注水の際は必ず、耐熱の手袋を使用してください。
水皿は高温になっています。

■使用後は必ず、水皿をお手入れする

（水皿にたまった脂が過熱されて発火するおそれがあります）

■容器（ボンベ）の取扱いについて

容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。
使用時以外は必ずキャップをしてください。

警告

次のことを必ず守る

（火災や爆発事故の原因となります）

●高温になる場所に置かない

高温になる場所や、熱気のあたる場所に保管や放置しないでください。

●完全に使い切ってから廃棄する

容器（ボンベ）を振ってシャカシャカと音がする場合には、まだガスが残っています。必ず完全に使い切ってから廃棄してください。

●容器（ボンベ）は火気や直射日光を避けて保管する

使用後は容器（ボンベ）を本体から取り外し、火気や直射日光（室内や車内の窓際なども含む）を避け、キャップをはめて、湿気の少ない 40℃以下の場所で保管してください。

●容器（ボンベ）は火中に投じない

容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まない

（酸欠により窒息死する原因となります）

容器（ボンベ）に強い衝撃を与えない

（落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります）

変形した容器（ボンベ）は使用しない

（ガス漏れの原因となります）

専用の容器（ボンベ）を使用する

必ず「イワタニカセットガス」と表示されている専用の容器（ボンベ）を使用してください。他の容器（ボンベ）を使用すると、ガスが漏れたり正常な使用ができない場合があります。

容器（ボンベ）は錆の無いことを確認して、製造日（缶底に西暦年月日で印字）から約 7 年以内をめやすに使い切る

使い方

■使用前の準備と確認

●ご使用の前に必ず、輻射板がユニットに正しく取り付けられ、さらにユニットが本体に正しく取り付けられていることを確認してください。
お手入れ後など輻射板がユニットから外れている場合は、「輻射板のお手入れ」(P.9)を参照して、正しく取り付けてください。
(輻射板とユニットが正しく取り付けられていない状態で使用すると、正常に点火せず故障の原因となります)

●必ず、水皿に水を入れてから使用してください。

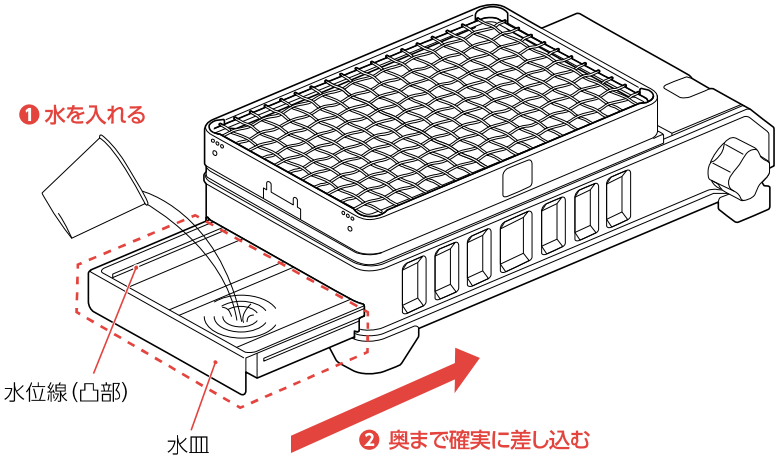
水を入れる際は、

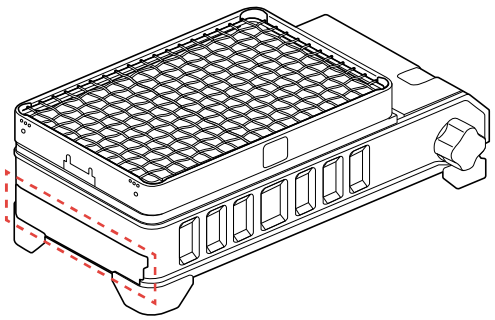
❶ 水皿を引き出し、700 ml の水を水位線(下図参照)まで入れます。

※水皿を完全に引き出すと水がこぼれやすいため、水皿を 1/3 程度引き出して注水してください。

❷ 水皿を矢印方向に、奥まで確実に差し込みます。

●使用中に水が少なくなったら、必ず水を補給してください。
水皿は高温になっています。水の補給時は必ず耐熱の手袋をご使用ください。





燃料の容器(ボンベ)は、必ず[イワタニカセットガス]と表示されているものをご使用ください

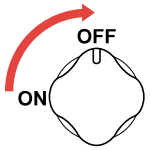
■容器(ボンベ)の取り付け方

下記の手順に従って容器(ボンベ)を取り付けてください。
誤った手順で取り付けると、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

●水皿が正常に取り付けられていることを確認してください。
●気温が低いときや連続して使用されるときは、暖かい場所で保管した「イワタニカセットガス」の使用をおすすめします。

❶ 容器(ボンベ)カバーを開けます。

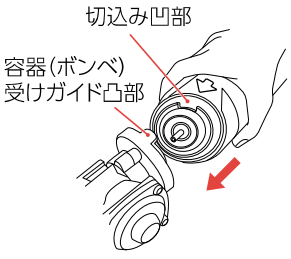
❷ 点火つまみを「OFF」の方向へ止まるまで回します。
・点火つまみが「OFF」の位置にないと、容器装着安全装置が働き、容器(ボンベ)を装着できません。



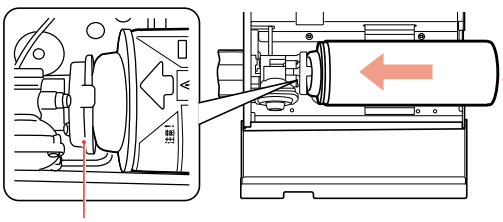
❸ マグネットに異物が付着していないか確認します。

❹ 容器(ボンベ)のキャップを外します。

❺ 火力安定装置(ヒートパネル)に容器(ボンベ)を載せ、切込み凹部を容器(ボンベ)受けガイド凸部に合わせます。



❻ 右図のように容器(ボンベ)の頭近くに手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、完全にマグネットに密着するまで押しつけて装着します。



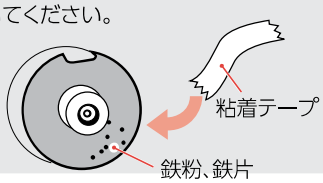
マグネットと容器(ボンベ)の間にすきまがないように確実に取り付けてください。

イワタニカセットガス使用時
容器(ボンベ)を装着したとき缶の底部は本体の外に出ます。
容器(ボンベ)装着部分は多少の「遊び」があり動く設計になっております。問題はございませんので安心してご使用ください。

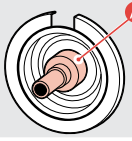
❼ 容器(ボンベ)を装着したら容器(ボンベ)カバーを閉じます。

・容器(ボンベ)の誤装着でガスが漏れた場合は、溜まったガスに引火しないよう、ガスのニオイがなくなるまで点火しないでください。
・再点火は容器(ボンベ)装着部に溜まったガスをうちわなどであおぎ、ガスを散らしてからおこなってください。

■マグネットに異物が付着しているとき
マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れしたり、容器(ボンベ)を装着できなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。

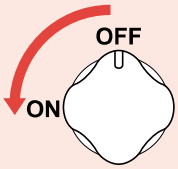


容器(ボンベ)の取り付け(装着力)が重い場合には、容器(ボンベ)の先端(下図Ⓐ)に植物油を薄く塗ってください。



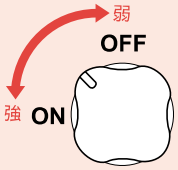
■点火と火力調整と消火

❶ 点火します



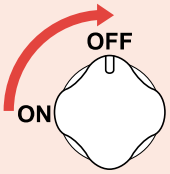
点火つまみを「ON」方向に「カチッ」と音のするまで回し、点火確認窓から点火したことを確認します。

❷ 火力を調整します



点火つまみを「ON」方向に回すと火力を強く、「OFF」方向に回すと弱くすることができます。

❸ 消火します

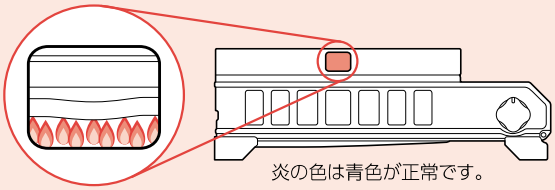


点火つまみを「OFF」方向に止まるまで戻します。

- ●点火しない場合は、点火つまみをすぐに「OFF」位置まで戻し、再度点火してください。
- ●使い始めや、容器（ボンベ）の温度が低いときは点火しにくい場合があります。注意しながら再度、点火操作をおこなってください。
- ●点火操作が早すぎるとバーナー内にガスが十分行きわたらず着火しにくくなります。
- ●とろ火にする場合は必ず炎を確認してください。とろ火の場合、炎が見えにくくなります。
- ●炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなるのでご注意ください。
- ●一度で点火しなかった場合は、引火しないよう溜まったガスをうちわなどであおいでください。

■点火・火力調整・消火の確認

点火確認窓から炎を確認してください。



炎の色は青色が正常です。

■使い終わったら（消火後の措置）

❶ 完全に火が消えたことを確認します

- ●消火直後は本体・容器（ボンベ）ともに熱くなっていますので、熱が冷めるまでしばらくお待ちください。

❷ 容器（ボンベ）を取り外します（下記）

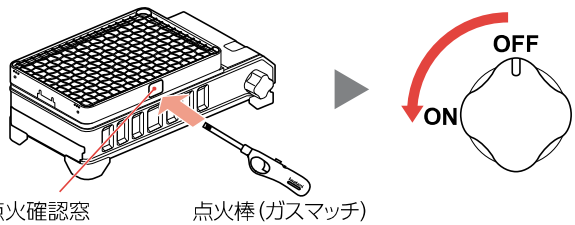
- ●容器（ボンベ）は必ず取り外してください。器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。

❸ 容器（ボンベ）を取り外した状態で点火します

- ●本体の配管に少量のガスが残ります。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

アドバイス

点火しにくい場合は、点火確認窓から点火棒（ガスマッチ等）を挿入して着火し、点火つまみを「ON」方向に回しながら、U字バーナーの両側に点火してください。



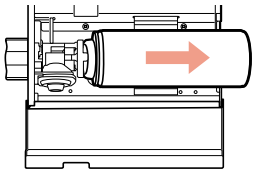
■容器（ボンベ）の取り外し方

使用後は必ず容器（ボンベ）を取り外し、キャップをして保管してください。

❶ 容器（ボンベ）カバーを開け、容器（ボンベ）を持って取り付けるときと逆の方向に、少し力を入れて水平にスライドさせ、マグネットから取り外します。

❷ 取り外した容器（ボンベ）にキャップを取り付けます。

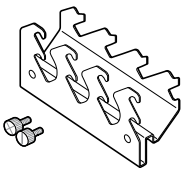
❸ 容器（ボンベ）カバーを閉じます。



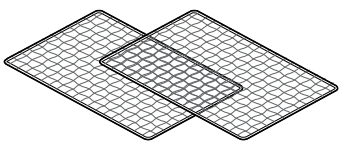
■専用アクセサリー（別売）　炙りの匠をもっと楽しむ専用オプション

本製品には、調理の幅を広げる炉ばた焼器 炙りやシリーズ専用アクセサリーをご用意しています。
料理や用途に合わせて使い分けることで、さらに美味しく調理できます。

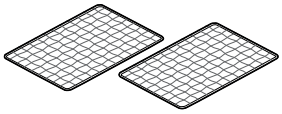
●串焼きスタンド（1個入）
品番：CB-ABT-KS



●焼網（2枚入）
品番：CB-ABR-AMI2
※串焼きスタンドと併用できません。



●ハーフ網（2枚入）
品番：CB-ABT-AMIH
※串焼きスタンドと併用できます。



アクセサリーの使用については、各商品の注意事項を守ってご使用ください。

使用後のお手入れと点検

■点検・お手入れの際のご注意　使用後は点検、お手入れをおこなってください。

●手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
●本体の丸洗いは絶対におやめください。
ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
●点検・お手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
●点検、お手入れは本体が冷めてからおこなってください。
●ガス通路部分は絶対に分解しないでください。

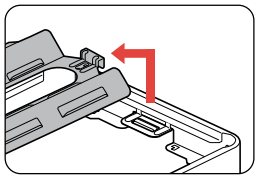
■輻射板のお手入れ

輻射板を着脱・お手入れするときは、手、指の保護のためにゴム手袋などをご使用ください。

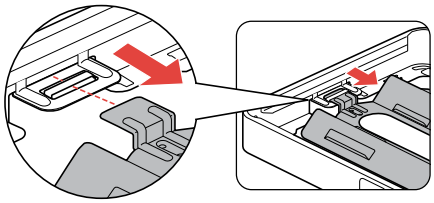
❶ ユニットを持ち上げて本体から外します。

❷ ユニットから輻射板を取り外します。

1）輻射板をユニットから引き上げるように抜いて外します。



2）輻射板のもう一方の側を引き抜いて外します。



❸ 中性洗剤とスポンジタワシで洗い、汚れを取り除きます。
洗浄後は、乾いた布で水分をふき取り、よく乾燥させてください。

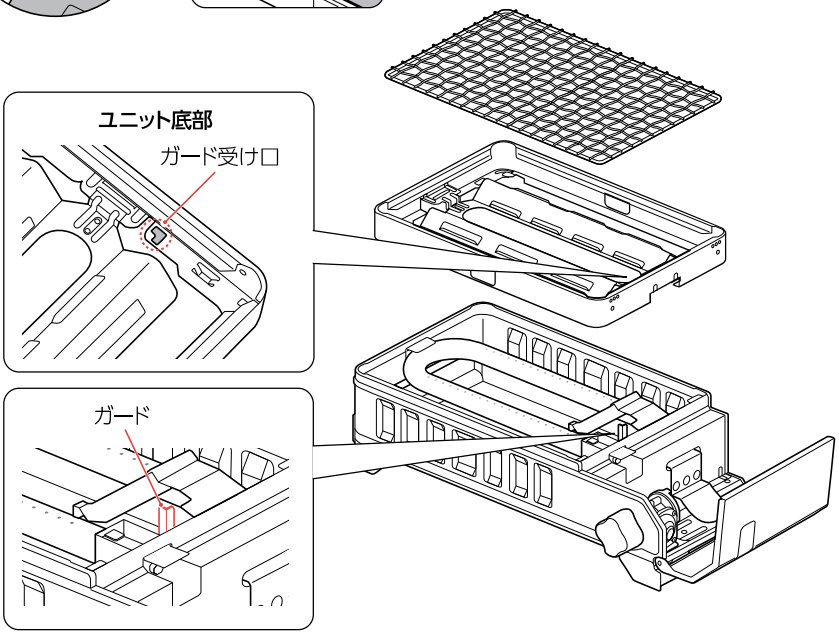
輻射板の端部で指を切らないよう十分に注意してください。

❹ 輻射板をユニットに取り付けます。

❷と逆の手順で取り付けてください。

❺ 本体にユニットを取り付ける

ユニットのガード受け口にガードを通し、
ユニットの四隅を本体に合わせます。
・正常に取り付けられていない場合、ユニットが不安定になり非常に危険です。



■その他の各部のお手入れ

点　検	お手入れ方法	ご　注　意
汚れの有無	固く絞った布で汚れをふき取ってください。汚れが取れにくいときは中性洗剤を使ってお手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	水気や汚れを放置すると故障や錆の原因になりますので、常に内外をきれいにしておいてください。お手入れの際は、電極を動かさないでください。 また、食器洗い乾燥機やアルカリ性洗剤をご使用になると、変色や塗装はがれのおそれがありますのでお控えください。
U字バーナーの目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。 （このとき、電極の位置を動かさないようにしてください）	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。 U字バーナーは常にきれいにしておいてください。
電極の汚れ （点火しなくなった場合）	電極の汚れは、乾いた布で、位置がずれないよう力を加えずにふき取ってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、点火つまみを「ON」方向に操作すると感電することがありますので、点火つまみは「OFF」の位置で動かさないように注意してください。
本体・容器（ボンベ）の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れが取れにくいときは、中性洗剤を使ってお手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器（ボンベ）を傷つけますのでお控えください。

●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検修理をご依頼ください。
※部品保有期間が過ぎた製品は、修理ができない場合もあります。

■長期間使用しないとき

●各部が汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
●各部が十分冷めてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
●本体に容器（ボンベ）を装着した状態のままで保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
●本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないようにお手入れをおこなってください。

■製品の経年劣化に関するご注意

本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。
本製品においては、製造後 10 年をめやすに買い替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。
●製造年月は定格銘板に記載されています。

「故障かな?」と思ったら

本製品を使用中に次のような症状が起こりましたら、処置方法を参考に対処してください。

症状	処置方法	原因の確認	処置
容器(ボンベ)を装着できない ➡処置方法 1 2 3 4 11 12	1	本体に変形や歪みがありませんか?	▶ 点検修理をご依頼ください。
	2	マグネットに鉄片、鉄粉が付着していませんか?	▶ 粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除いてください。
	3	点火つまみが「ON」になっていませんか?	▶ 点火つまみを「OFF」にして、容器(ボンベ)を装着してください。
	4	他社の容器(ボンベ)を使用していませんか?	▶ イワタニ専用の容器(ボンベ)をご使用ください。
点火しにくい ➡処置方法 4 5 6 7 8 9 21	5	ガスがなくなっていませんか? ガスが少なくなっていませんか?	▶ 新しい容器(ボンベ)に取り換えてください。
	6	電極部に汚れや水分が付着していませんか?	▶ 汚れ・水分をふき取ってください。
	7	U字バーナー炎口部が目づまりしていませんか?	▶ 金属ブラシなどで目づまりを取り除いてください。
	8	正しく点火操作をしていますか?	▶ 正しい点火操作をしてください。(P.8)
点火しない ➡処置方法 5 6 7 8 9 10 11 12 13 15 16 21	9	点火つまみが故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
	10	ガス導管(ノズル)がつまっているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
	11	圧力感知安全装置が作動していませんか?	▶ 「●圧力感知安全装置が作動したときは」(P.3)に従って解除してください。
	12	容器(ボンベ)が正しく装着されていますか?	▶ 容器(ボンベ)を正しく装着してください。(P.7)
	13	点火装置が故障しているおそれがあります。	▶ 点検修理をご依頼ください。
	14	点火つまみを全開にしていますか?	▶ 点火つまみを全開にしてください。
	15	電極からU字バーナーに火花が飛んでいますか?	▶ 電極とU字バーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。火花の飛ぶ方向を調節してください。
	16	火花は飛んでいますか?	▶ 火花が飛んでいない場合、電極の白い部分(セラミック)に汚れや水滴が付着しています。汚れや水分を取り除いてください。
U字バーナーに火移りしない ➡処置方法 5 7 10 21	17	ご購入後、初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなります。数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。	
電極の周りの炎が赤くなる ➡処置方法 17	18	火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。	
黄炎で燃える ➡処置方法 7 10	19	異常ではありません。2~3分間、点火つまみを少し絞って使用してください。	
炎が安定しない ➡処置方法 7 10	20	故障ではありません。 点火操作をおこなう場合は、顔や手をU字バーナーに近づけないでください。	
炎が不揃い ➡処置方法 7	21	輻射板をセットしていますか?	▶ 輻射板をセットしてください。
火力が弱い ➡処置方法 5 7 10 14			
ガスのニオイがする ➡処置方法 4 8 9 12			
使用中に火が消えた ➡処置方法 5 10 11			
消火しない ➡処置方法 9			
点火つまみを「OFF」にしてもガスが漏れる ➡処置方法 4 9 12			
消火時に「ボッ」という音がする ➡処置方法 18			
U字バーナーより炎が離れて燃焼する ➡処置方法 19			
点火時に「ボッ」という音がする ➡処置方法 20			

MEMO

アフターサービス

■サービス（修理、点検）を依頼される前に

①「「故障かな？」と思ったら」（P.10）の項をみてもう一度ご確認ください。
②正しいご使用にもかかわらず、万一故障した場合は、お買い上げの販売店、または下記のお客様相談室にお問い合わせください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

●当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前、ご住所、電話番号などの個人情報をサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
●当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示、提供はいたしません。

■保証について

①本製品には保証書がついています。領収書・レシートなどはお買い上げの販売店で発行しておりますので、ご購入日、販売店名、商品名等、商品購入の証明となることを確認してお受け取りの上、大切に保管してください。購入の証明がない場合、無効となります。
②万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
③保証書に記載されている無償修理規定以外は有償になります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

●ご住所、ご氏名、お電話番号
●製品名、型式名（定格銘板のもの）
●不具合内容（できるだけ詳しく）
●ご購入日

■右の二次元バーコードより修理のご案内を確認し修理フォームにてお申し込みください。
（修理のご案内・お申込みはこちら）

https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/cg/support/repair/

■補修用性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、５年間保有しています。

★保証書をご提示のうえ、アフターサービスをお申し込みください。

保証書

イワタニカセットガス炉ばた焼器　炙りの匠

型 名	CB-ABT-1	製造番号	お名前
保証期間 本体	一年	お買い上げ日 □年□月□日 ～ □年□月□日まで	ご住所 お電話　（　）

取扱販売店・住所・電話番号

本書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

Iwatani
岩谷産業株式会社

〈無償修理規定〉

1　取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
2　保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、製品と本書をご持参ご提出のうえ、お買い上げ販売店（修理申出先）に依頼してください。
3　ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記の岩谷産業へご相談ください。
4　保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
（ホ）保証書の提示がない場合
（ヘ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
5　保証書は日本国内においてのみ有効です。
6　保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

岩谷産業株式会社

〒105-8458 東京都港区浜松町 2-3-1　https://www.iwatani.co.jp/jpn/

製品に関するお問い合わせは
お客様相談室　（通話料無料）
月曜～金曜 9:00～17:15（祝日、弊社休業日を除く）
0120-156269

●携帯電話からはナビダイヤル
0570-200665

●WEBでのお問い合わせは
https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/support/inquiry/
※お問い合わせフォームにご記入のうえ送信してください